

「東が丘看護学部看護学科」及び「医療保健学部看護学科」の特色について

	東が丘看護学部看護学科	医療保健学部看護学科
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、臨床判断し、確かな看護の実践能力をもって発展的に未来の看護を創造しうる看護師を育成。 ○ 保健・医療に係わる専門職として、時代の動き、社会のニーズに敏感に対応し、科学的根拠となる知識の強化により、スキルミックスの展開につながる看護実践能力を備えた看護師を育成するための基礎的な能力を履修。 ○ 高度な看護実践を行うため「看護実践能力」、「自己啓発能力」及び「キャリア開発能力」を育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護の専門職である前に1人の人間として豊かな人間性を身につけ、人間理解・生命の畏敬・生涯学習を継続して社会の変化に対応できる専門職としての自立を促す。 ○ 専門職として高い実践能力を身につけ、現場に強い看護師を育成。 ○ 医療関連機関・地域社会・企業・学校等で連携し、共同活動による健康づくりを提案・実践できる専門職業人として社会貢献ができる人材を育成。
カリキュラムの特色	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床実践に強い看護師の育成を図る観点から「看護実践能力」、「自己啓発能力」及び「キャリア開発能力」の3つの能力育成を中核としているが、「看護実践能力」の育成に当たっては、「人間尊重と人間関係の形成」、「健康問題の解決」及び「看護技術力」などの基礎的な能力について臨床に密着し、豊富な臨床現場を活用して履修する。 ○ 基礎分野においては、既存の大学の機能を活かして基礎的な幅広い知識を身につけるとともに急激に変化する医療に対応したスキルミックスの実践への基盤となる専門基礎分野の臨床栄養学、臨床薬理学、臨床検査学などの科目を演習にて展開し、臨床での判断力、看護実践能力を高める。 ○ 臨床のリアリティに対応した看護師の育成を図る観点からあらゆる対象のあらゆる状況にも、的確な判断に基づく看護実践が行えるように専門分野の臨床看護技術学、医療臨床看護実践学Ⅰ、Ⅱに重点を置いて履修する。また、国立病院機構の専門的な臨床現場を活用し、看護実践能力を高める。 ○ 各分野において豊富な時間数、単位数を設定し、科目の選択数を多くすることで自己判断力、自己教育力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3学科（看護学科、医療栄養学科、医療情報学科）共通科目の「医療のコラボレーション教育」により、医療現場での協働実践実習能力を履修し、優れたチーム医療を実現できる人材の育成を図る。 ○ また、共通科目の「いのち・人間の教育」により、いのち・人間、社会科学、自然科学及び情報科学を履修するとともに、英会話、専門英語、フランス語、中国語の履修により国際化の進む医療現場で必要とされる語学力を修得する。 ○ 「専門職の教育」としては、「専門基礎」、「実践基礎」、「実践応用」、「卒業研究」及び「実践の展開」の区分に基づく、4年間の統合カリキュラムにより看護マネジメント能力の育成を図る。 ○ 臨床に強い必要な専門的能力を身につけるため看護・医学基礎知識・技術を基盤とし、高度な専門的知識の理解と探究を自主的に学習できるように段階的に整理するとともに、患者の生命を守る医療従事者として安全・安心な医療・看護を実践する能力を養成する。
卒業後の活躍分野	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主として国立病院機構が設置する東京医療センターなど全国145病院等において実践的な看護実践能力を有する専門職のリーダーとしてその力を発揮することが期待される。また、一層のキャリアアップを図るため、本学の大学院看護学研究科看護学専攻高度実践看護コースに進学することが可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ NTT 東日本関東病院、東京通信病院や各地域の病院等において、看護マネジメント能力を発揮するとともに、医療現場での各職種との協調を図りながら、信頼される看護師として活躍することができる。また、社会人として実務を経験した後、本学の大学院医療保健学研究科看護マネジメント学コースに入学することが可能である。